

## 平成 19 年度 第 2 回「トーキョーワンダーサイト運営諮問委員会」 議事要点

- 1 日時 平成 19 年 10 月 10 日(水) 17:30～19:30
- 2 場所 渋谷区勤労福祉会館 洋室第 2 会議室
- 3 出席者 岩淵委員、太下委員、井口委員、片山委員、西松委員、長尾委員、本田委員  
森委員、湯浅委員  
館長、副館長、事業課長

### 4 次第ならびに発言要旨

#### (1) 意見交換

##### 資料説明

事務局より、「平成 19 年度事業の実施状況」「課題への取り組み状況」  
「トーキョーワンダーサイト中期計画骨格案」について説明。

##### 意見交換

事務局からの説明に対して、以下のようなご意見が交わされた。

#### [若手支援について]

- ・若手アーティストへの継続的な支援として、個人のサポーター育成の仕組みを実験的に取り組んでほしい。  
(例：企業との提携によるポイント制度を利用した個人寄付のシステム)
- ・場の提供だけでなく、エクスチェンジのプログラム、奨学金のプログラムの充実を望む。

#### [地域 / 大学 / 各種機関との連携について]

- ・社会貢献の一環として、インターンの受け入れも検討していくべき。
- ・大学や東京都が蓄積している文化的アセットとの連携についても検討を望む。

#### [3 館の役割分担について]

- ・実施事業が類似しているなど各館の差別化ができていない。3 館の明確な住み分けが必要。

#### [広報について]

- ・第 1 回運営諮問委員会での課題である活動記録誌の進捗が非常に早く進んでおり、大変評価できる。
- ・効率的な広報を行うためには、公平性、オープン性等、重点的に広報したい部分を明確にすることが必要。
- ・個々のチラシの質は非常に高いが、トーキョーワンダーサイトのメッセージ

が見えてこない。広報物に対して統一感のある主張が必要。

#### [事業評価指標について]

- ・ 事業評価指標について、アウトカム指標だけでなく、費用概念を取り入れたものとするべき。
- ・ この事業評価制度の検討は、新しいアートのプロデュース機能の評価制度を発信していくいい機会である。
- ・ 21世紀のアートムーブメントを起こすのだという先鋭的な目標を掲げてもよいのではないか。

#### [渋谷の立地について]

- ・ 渋谷には潜在的に来館の可能性のある人が多くいる。館へのアプローチ、導入の工夫を考えるだけで印象を変えることが可能ではないか。
- ・ 勤労福祉会館入口に、内部の様子を写したモニターを設置することも一案。
- ・ アプローチ部分の壁面・空間を活用するようなコンペを渋谷区と共催し、そのまま作品にしてしまうというのはいかがでしょうか。
- ・ 入り口の件については、渋谷区との交渉において積極的な交渉も必要。

#### [施設について]

- ・ 音楽プログラムは、ワンダーサイト以外のより広い施設での開催も検討してはどうか。  
(例：青山学院講堂、慶應義塾大学室内楽用ホール等)
- ・ 他の施設を使用することで、ワンダーサイトが東京のアートシーンのプロデュース機関であるという方向性を明確に示すことができる。
- ・ カフェを活用するなど、よりカジュアルな形でアートの楽しみ方を提案するような企画ができるとよい。

#### [ワンダーサイトの国際的役割について]

- ・ 分野を超えて様々な人が集まり、会話をする場や機能を持つとよい。
- ・ アジア・オセアニア地域との連携強化や、その中で日本がリーダーシップをとるための枠組みについて、大きな課題として取り組んでほしい。
- ・ 「美術館ではないアートスペースの新しい意味」の定義付け、今日における芸術の社会的意味などについて考えられる場であってほしい。

## 5 閉会

以上

## 平成19年度事業実施状況

### トーキョーワンダーサイト本郷

事業名	日程	観覧者数	内 容
企画公募展 (Video Art From London)	4/1～4/22	673	若手のキュレーターを対象に企画を公募した 展覧会。(前年度(3/28)からの継続展示 観覧者数は、4/1以降 )  19年度の企画公募展は、6月に公募を実施 した。22人が応募し、3人が入選。入選者の 企画による展示会は3月に実施の予定。
企画公募展(Double Cast)	4/1～4/22	673	
企画公募展(華・非・華)	4/1～4/22	673	
INDEX展 - 経験の効用 -	5/5～6/3	737	京都造形芸術大学と連携し、若手アーティストを 紹介する展覧会を開催するもので、今年度で 3回目になる。京都展2か所、東京展1か所の 計3か所で開催し、ほとんどが80年代生まれの 20代の若手アーティスト10人が出品している。
トーキョーワンダーサイト・エマー ジ ング	6/9～7/1	629	トーキョーワンダーウォール入選者の中から毎年 10～20名のアーティストを選出して、作品発表の 機会を提供し、自作品のプレゼンテーションの方 法や観客とのコミュニケーションなどを実地に学ん でもらうことを目的とした展覧会。  (展示アーティスト) 072長井朋子、073佐貫巧  074池田拓馬、075トモエ、076中島健  077恵木亮太・078後藤靖香  079清水智裕・080長浜憲二  081吉岡雅哉・082笹井信吾・083森裕子  19年度中に、あと4回実施予定。
トーキョーワンダーサイト・エマー ジ ング	7/7～7/29	439	
トーキョーワンダーサイト・エマー ジ ング	8/4～8/26	391	
トーキョーワンダーサイト・エマー ジ ング	9/1～9/23	358	
トーキョーワンダーサイト・エマー ジ ング	9/29～10/21	59	
0コレクションによる空想美術館	5/5～7/1	1,366	精神科医、アートコレクターであり、アート プロデュース集団アートアセファルの 代表を務める岡田聡氏所蔵の日本人 若手アーティストのコレクションを展示。 (展示作品の作家) 加藤泉、桑原正彦 東恩納祐一、三嶋章義、大庭大介
0コレクションによる空想美術館	7/7～9/23	1,188	
計		7,186	

(観覧者数は9月30日現在)

トーキョーワンダーサイト渋谷

事業名	日程	観覧者数	内 容
THE EAST/WESTPROPAGANDA PROJECT- OBEY GIANT VERSUS WK INTERACT	4/1 ~ 4/22	2,261	世界的に活躍するストリートアーティスト、OBEY GIANTとWK INTERACTがTWS青山で滞在制作した作品を展示。 (前年度(3/17)からの継続展示 観覧者数は、4/1以降 )
東京画 - ささやかなワタシのニチジョウのフーケイ	5/12 ~ 6/24	2,102	若手アーティストによる「東京」の今を映し出す作品を中心とした展示。会期中も各作家がドロ잉を持ち寄り、TWS青山のスタジオでアーティスト同士が同じ場を使って制作するなど、日々新たなモノ・コトが生み出された。 (展示アーティスト) 近藤恵介、鮫島大輔、須藤由希子、奈良エナミ、日野之彦、原良介、福居 伸宏
"ritual" TEAM07塚田守・08大野智史・09千葉正也	7/7 ~ 8/19	2,326	TEAM展は、ある程度のキャリアを積んで注目度が集まり、今後のさらなるステップアップが期待されている若手アーティストのサポートを行っていく企画で、今回は3名のグループ展となった。 (展示アーティスト) TEAM07塚田守・08大野智史・09千葉正也
TWS青山:クリエイター・イン・レジデンス成果発表展覧会	9/8 ~ 11/25	971	平成19年度上期にトーキョーワンダーサイト青山クリエイター・イン・レジデンスに滞在した、それぞれの地域のコンテンポラリーアートシーンを代表する実力派若手アーティストによるグループ展。 (展示アーティスト) マリーナ・カボス(アメリカ) JNPプロダクション(韓国、ビデオアートユニット) ボスコ・ソーディ(メキシコ)
カリン・レヴァイン & ローハン・デ・サラム デュオコンサート 「20世紀の現代音楽と現在」	9/27	47	現代音楽シーンで国際的に活躍する演奏家を招いてのコンサートとトーク。 (出演) カリン・レヴァイン(フルート) ローハン・デ・サラム(チェロ)
計		7,707	

(観覧者数は9月30日現在)

トーキョーワンダーサイト青山

事業名	日程	観覧者数	内 容
Michael Geilerヴィオラ・マスタークラス	4/10～4/13	36	Royal Concertbouw Orchestra首席ヴィオラ奏者でアムステルダム音楽院教授のMichael Geiler氏を講師に迎え、若手音楽家を対象としたヴィオラの個人レッスンを開催。
ロバート・カール公開作曲レッスン	6/15	6	現代音楽の作曲家ロバート・カールを講師に迎え、日本の若手作曲家を対象とした、公開作曲レッスンを開催。
Bosco Sodi Open Studio	8/1～8/8	73	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、ボスコ・ソーディのスタジオを「オープン・スタジオ」として、TWS青山にて滞在作成した作品、制作風景などを公開。
カリン・レヴァイン フルート・マスタークラス	9/28～9/30	19	独・仏で毎年開催される「若手音楽家のための室内楽セミナー」の教授でもあるフルーティスト カリン・レヴァインを講師に迎え、フルートコース、作曲コースの個人レッスンを開催。
計		134	

(観覧者数は9月30日現在)

(Wednesday Lounge Artist Talk)

事業名	日程	観覧者数	内 容
vol.1 キャレン・マッコイ	5/9	38	現在制作中のドローイング「コンセプチュアル・マップ」の日本における発展について作家より解説。また派遣滞在を支援しているACCを紹介。
vol.2 ロバート・カール	5/16	20	本滞在中の調査研究「ポスト・武満世代」の作曲家たちへのインタビュー・シリーズについて、作曲家ロバート・カール本人より解説。
vol.3 ユーグ・レップ	5/23	37	H19年9月にパリのアニエスベーのギャラリー:Galene Du Jourで行われる個展に向けての作品制作過程、またこれまでの活動について解説。
vol.4 ショーン・アイロンズ&ローレン・ベティ	6/1	19	ビデオ・アーティストであるショーン・アイロンズ、ローレン・ベティによるこれまでの活動についての解説など。
vol.5 マリーナ・カポス	6/27	46	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、現在制作中の作品およびマリーナ・カポス本人の世界観について語る。
vol.6 キャサリン・アレクサンダー	7/17	16	世界各地で上映された『エレファント・パニッシュ』(2003年発表)制作時のエピソードや、新作に関わる意気込みについて演出家キャサリン・アレクサンダーより紹介。
vol.7 マーク・ルブラン	7/25	26	「現代アートにおけるメディア・ネットワークの可能性」と題し、Survivart長内綾子氏、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構 山村真紀氏を招いてのトークセッションを開催
vol.8 ボスコ・ソーディ	8/1	35	現在滞在制作中の作品、およびこれまでの作品についてボスコ・ソーディ本人より解説。
vol.9 JNPプロダクション	8/22	16	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、第6回光州ビエンナーレ(H18年9月～11月)での出品作品や、今回の東京における滞在制作について紹介。
計		253	

(観覧者数は9月30日現在)

## 課題への取り組み状況

(全般)

第1回運営諮問委員会で確認した、トーキョーワンダーサイト事業運営における当面の課題への取り組み状況。なお、項目毎にプロジェクトチームを結成して、対応策の検討を行っている。

区 分	取り組み状況(当面予定しているものも含む)
中期計画の策定	<p>19年度の組織目標 19年7月に策定</p> <p>目標「トーキョーワンダーサイトの活動内容、意義を広く知ってもらう」</p> <p>中期(3ヵ年)計画の骨格案</p> <p>現段階での検討内容を整理。</p>
事業評価	<p>職員研修の実施</p> <p>事業評価に関する基礎知識の習得及び職員の意識啓発を目的として、慶應義塾大学岩淵教授(運営諮問委員会座長)を講師に迎え、9月14日に研修を実施。</p> <p>19年度入館者数目標等の設定</p> <p>東京都歴史文化財団の経営目標に合わせて、今年度の入館者(展覧会観覧者及びコンサート入場者)数の目標値を定め、管理。</p> <p>ワンダーサイトの事業評価体系・評価の流れ、事業評価指標案</p> <p>現段階での検討内容を整理</p>
広報の充実	<p>活動記録誌の作成</p> <p>サイトの活動記録を広報し、サイト事業への理解と関心を高めると共に、今後の活動及び連携の幅を広げていくために活動記録誌を作成する。</p> <p>8月に編集委員会発足(運営諮問委員会の太下副座長にも委員会に参加頂いている。)</p> <p>20年度中発行予定</p> <p>広報誌の発行</p> <p>ワンダーサイトの広報誌を発行し、若手アーティスト支援やレジデンス募集情報などを周知する。(19年12月創刊予定)</p> <p>記者懇談会、大学教員説明会の実施</p> <p>ワンダーサイト事業の周知や公募事業の案内などを目的として、報道機関の文化部などを対象とした記者懇談会、及び芸術系、文化政策系の大学教員を対象とした大学教員説明会を開催する。(20年度中実施予定)</p> <p>ホームページの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのワンダーサイトの活動実績を記録したアーカイブを完成させる。</li> <li>ワンダーサイト運営上の規程、基準、事業計画、主な動きなどを掲載する。</li> </ul>
財政基盤の強化	<p>来年度予算に向けての取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経常費用の節減による都補助金の縮減</li> </ul>

## トーキョーワンダーサイト中期計画（19～21年度）骨格案

### 計画体系

#### ミッションに基づく事業の充実

ワンダーサイト事業の基本的使命（ミッション）を踏まえた事業の着実な実施

#### コア事業の充実

若手アーティストの支援・育成

世界のアートネットワークの交流拠点

都政・地域との協力・連携

… オリンピック招致プログラムの実施  
若手アーティストの社会活動プログラム

… 大学との連携強化、  
アーティスト情報の発信、  
年間スケジュールの固定化

… レジデンスの活用と交流  
プログラムの充実

#### 事業評価制度の導入

事業評価の実施による各事業の有効性検証と見直し

#### 戦略的広報の充実

ターゲットを見据えた、重点的、効果的な広報  
説明責任の遂行と、TWSの社会的評価の確保

#### 財政基盤の安定強化

安定的収入の確保と経費の効率的執行